

ひとりぼっちの

THE LONELY MYAA

え・ぶん たしろちさと

やく ピーター・ミルワード



クリスマスの

ON CHRISTMAS EVE

Pictures, words by Tashiro Chisato

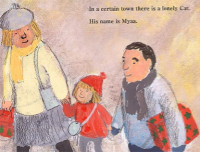
Translation by Peter Milward

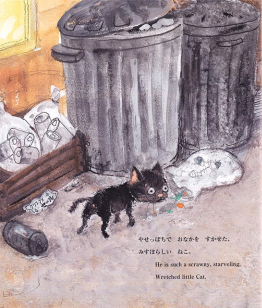
よるに



あるまちにひとりぼっちのねこがいました。
なまえはミー。

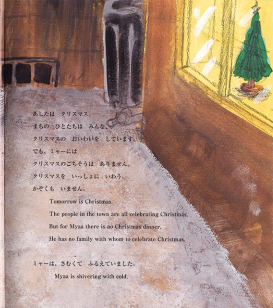
In a certain town there is a lonely Cat.
His name is Myo.





やせっぽちで おなかを すかめた。
みずばらしい ねこ。

He is such a scrawny, starving,
Wretched little Cat.



あしたは クリスマス。
まちの ひとたちは みんな、
クリスマスに お祝いを しています。
でも、ミーヤには
クリスマスのごちそうは ありません。
クリスマスを いっしょに いわう
かぞくも いません。

Tomorrow is Christmas.
The people in the town are all celebrating Christmas.
But for Myaa there is no Christmas dinner.
He has no family with whom to celebrate Christmas.

ミーヤは、さむくて ふるえています。
Myaa is shivering with cold.



それから、ゆきが「おちてきました。
「あったかそうだなあ、
ほくも、だんろの、ひに、あたりたい……」

Then, it starts to snow.
"If only to feel warm,
I dream of a nice warm fireplace..."



まどの中からは、
まっしろを おこが いいました。
「まあ、きたない、ねこ。
ここは、あたしの おうちよ。
あつらへ、いって」

From within a window there is a white Cat saying,
"You dirty Cat,
This is my house. Go away!"





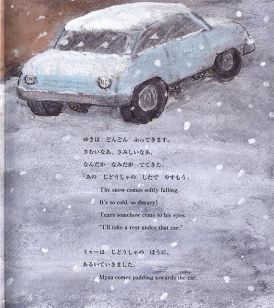
「おなかが すいたなあ。なんて いいにおい」

"I feel so hungry.
How nice it smells!"



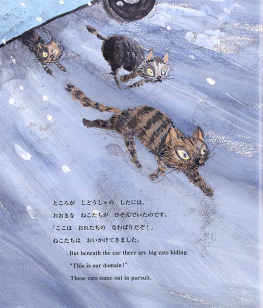
「ごめんな、しっ、しっ、
ここには おまえに やる 食べものはないぞ」

"Hey, keep away.
There's nothing for you to eat here!"



ゆきは どんどん 落ちてきます。
さむいなあ、さみしいなあ、
なんだか なみだが でてきた。
「あの じどうしゃの したで やすもう」
The snow comes softly falling.
It's so cold, so dreary!
Tears somehow come to his eyes.
"I'll take a rest under that car."

ミヤは じどうしゃの ほうに、
あるいていきました。
Mya comes padding towards the car.



とこちが じどうしゃの したには、
おおきな おこたちが かくんでいたのです。
「ここは おれたちの なわばりだぞ!」
おこたちは おいかけてきました。

But beneath the car there are big cats hiding.

"This is our domain!"

These cats come out in pursuit.



Myaは

逃げました。

いきが かれて

いざにも ころんでしまひそうです。

Mya runs away.

He is quite out of breath.

At any moment he may collapse.